

平成 年 度 分 収 支 内 訳 書 (一 般 用)

豊橋市

台帳番号	-	整理番号	
住 所	豊橋市		
氏 名	印		

事業所得の金額＝売上(収入)金額－経費等(売上原価＋経費＋専従者控除)

- ①売上(収入)金額…………… 売掛による代金未収のものも含まれます。
- ②期首商品(製品)たな卸高… 1月1日現在の商品等のたな卸額です。
- ③仕入金額…………… 掛買による代金未収のものも含まれます。
- ④期末商品(製品)たな卸高… 12月31日現在の商品等のたな卸額です。
- ◎経費の各科目の具体例(下記のうち、事業のために要した部分)

⑥租税公課	固定資産税、自動車税、事業税、組合費など
⑦水道光熱費	水道料、電気料、ガス代、石油などの購入費
⑧旅費交通・通信費	電車賃、バス代、タクシー代、宿泊代、電話料、切手代など
⑨広告宣伝費	折込広告、マッチ、カレンダーなど
⑩修繕費	店舗、車両、機械などの修繕代
⑪消耗品費	包装材料、事務用品、ガソリン代など
⑫雇人費	従業員への給料、手当など
⑬利子割引料	事業用資金の借入金の利子など
⑭地代家賃	店舗、土地などの敷地の地代や家賃など
⑮減価償却費	店舗、車両、備品などの償却費

※上記以外の経費は、空欄に記入してください。

⑲事業専従者の氏名等 (裏面を必ずご覧ください。)

氏 名	生年月日	続 柄	専従者控除
	. .		

⑮減価償却費の計算

減価償却資産の名称等	取得年月	①取得価額	②償却の基礎になる金額	耐用年数	③償却率	④償却期間	⑤償却費 (②×③×④)	⑥事業 専用割合	⑦必要経費算入額 (⑤×⑥)	未償却残高(期末残高)
	年 月	円	円	年		/12	円	%	円	円
	.					/12				
	.					/12				
									計⑮	

科 目		金 額 (円)	
①売上(収入)金額			
売 上 原 価	②期首商品(製品)たな卸高		
	③仕入金額		
	④期末商品(製品)たな卸高		
	⑤差引原価(②+③-④)		
	⑥租税公課		
⑦水道光熱費			
⑧旅費交通・通信費			
⑨広告宣伝費			
経 費	⑩修繕費		
	⑪消耗品費		
	⑫雇人費		
	⑬利子割引料		
	⑭地代家賃		
	⑮減価償却費		
	⑯		
	⑰雑費		
	⑱経費計(⑥~⑰)		
	⑲専従者控除		
	⑳経費等(⑤+⑱+⑲)		
	所得金額(①-⑳)		

⑮減価償却費

償却の基礎になる金額

- ・平成19年3月31日以前に取得した資産＝取得価額×90%
- ・平成19年4月1日以後に取得した資産＝取得価額

⑲専従者控除（申告書裏面にも必ずご記入ください。）

・専従者

あなたと生計を一にしている配偶者や15歳以上の親族で、
1月から12月までに6か月を超える期間、あなたの事業に従事した人。

・控除額

I.事業専従者控除額（ア、イのいずれか少ない方の金額）

ア.配偶者86万円、その他の親族50万円

イ.事業に係る所得金額(①－⑤－⑱)÷(事業専従者数＋1)

II.青色専従者給与額

(税務署に青色事業専従者給与に関する届出済みの人)

※専従者は、配偶者控除、配偶者特別控除、扶養控除の対象にはなれません。

⑲事業専従者の氏名等

氏名	生年月日	続柄	専従者控除
	・	妻	860,000

⑮減価償却費の計算

減価償却資産の名称等	取得年月	①取得価額 円	②償却の基礎になる金額 円	耐用年数 年	④償却率	③償却期間 /12	⑥償却費 (②×④×③) 円	⑦事業 専用割合 %	①必要経費算入額 (⑥×⑦) 円	未償却残高(期末残高) 円
自動車(総排気量 660cc以下)	年 月 27・7	800,000	800,000	4	0.250	12	200,000	100	200,000	
						/12				
計⑮										

科目		金額 (円)
①売上(収入)金額		480,000
販売原価	②期首商品(製品)たな卸高	380,000
	③仕入金額	180,000
	④期末商品(製品)たな卸高	40,000
	⑤差引原価(②+③-④)	178,000
	経費	
⑥租税公課	125,000	
⑦水道光熱費	72,000	
⑧旅費交通・通信費	120,000	
⑨広告宣伝費	30,000	
⑩修繕費	70,000	
⑪消耗品費	150,000	
⑫雇人費		
⑬利子割引料		
⑭地代家賃		
⑮減価償却費	572,600	
⑯		
⑰		
⑱経費計(⑥~⑰)	113,960	
⑲専従者控除	86,000	
⑳経費等(⑤+⑱+⑲)	377,960	
所得金額(①-⑳)	102,040	